

# 北海道浮魚ニュース

平成 12 ( 2000 ) 年度 22 号 ( 通巻 No.92 )

2000 年 10 月 24 日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6221	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5998	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-32-7177	Fax : 0162-32-7171
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

## オホーツク海・根室海峡スルメイカ調査結果

10 月 11 日から 18 日に漁獲調査と海洋観測を網走沖と根室海峡で行いましたのでその結果をお知らせします。漁獲調査は網走沖の 1 調査点と根室海峡の 2 調査点で、海洋観測は網走沖の 1 調査点と根室海峡の 6 調査点で行いました ( 図 1 )。

根室海峡の St. a ~ St. f の水温断面図を図 2 に示しました。表面水温は 16.4 ~ 16.8 、 50 m 層水温は 14.0 ~ 16.4 で前年並みからやや高めの水温になっていました。網走沖の観測点 St. g は、表面水温 14.2 、 50m 層水温 15.1 で前年よりやや低めになっていました。

3 調査点での漁獲調査の結果、St. h の CPUE\* は 11.2、St. i の CPUE は 0.7 でした。また St. g では手釣りで 92 尾の漁獲がありました。

\*CPUE : 自動イカ釣り機 1 台で 1 時間に漁獲するイカの尾数。

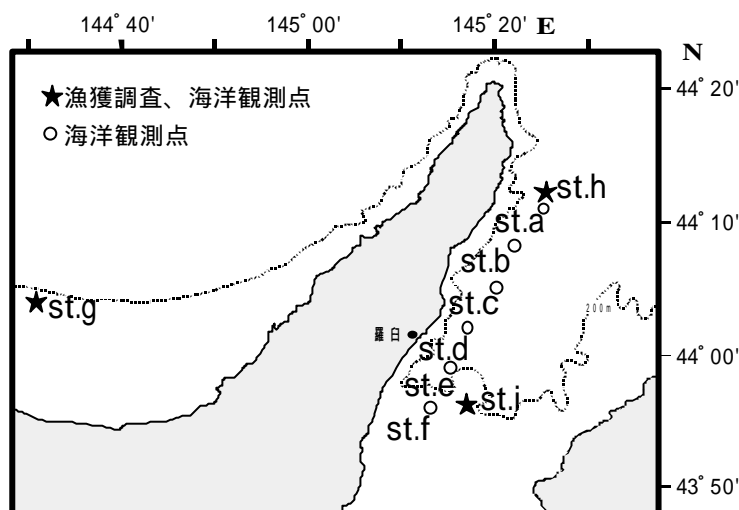


図 1 スルメイカ漁獲調査・海洋観測点

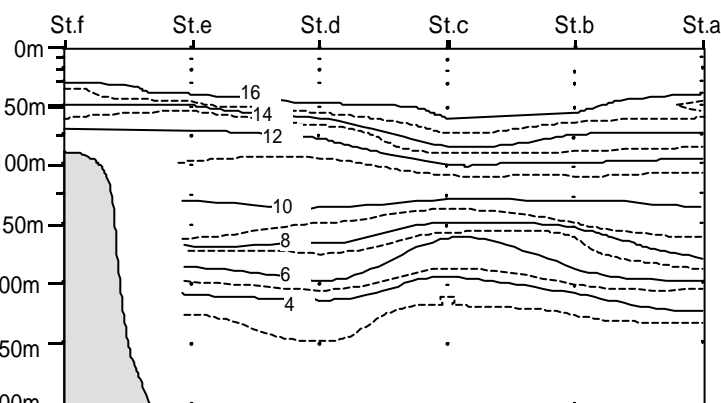


図 2 根室海峡における水温断面図

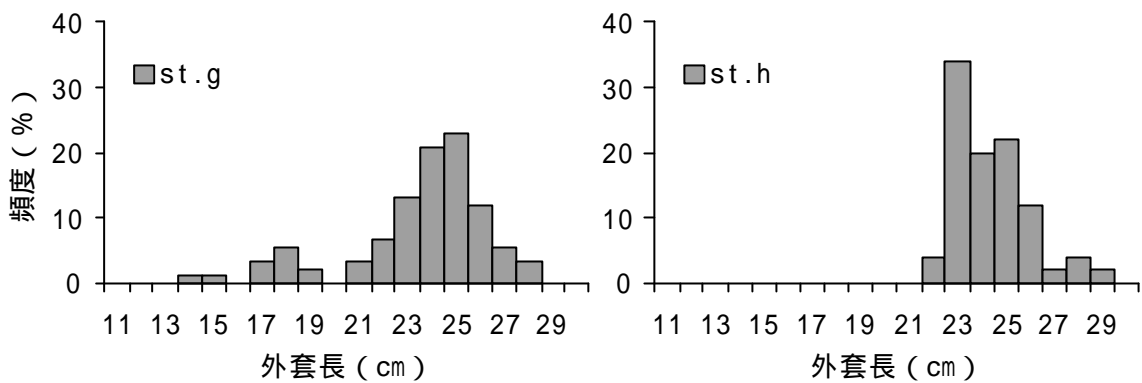


図3 スルメイカ外套長組成図

漁獲したスルメイカの外套長範囲は St.g で 14~28cm (モード\*25cm)、St.h で 22~29cm (モード 23cm) でした (図3)。

St.g と St.h では前年よりモードが大きくなっていました。

\*モード：最も多く漁獲されたイカの外套長

## オホーツク海サンマ漁獲調査結果

今回の調査では、サンマの漁獲調査も行いました。海洋観測を6調査点、漁獲調査を3調査点で行いましたのでその結果をお知らせします。(図4)。

St.j~St.oの、表面水温は11.9~12.6、50m層水温は2.6~10.7で、前年並みからやや低めでした。

漁獲調査は3調査点で、流し網を使用し漁獲を行いました。漁獲尾数はSt.gで166尾(使用目合は37mm, 2反)、St.jで1,318尾(使用目合は29mmと37mm, 各1反)、St.xで102尾(使用目合は29mm,

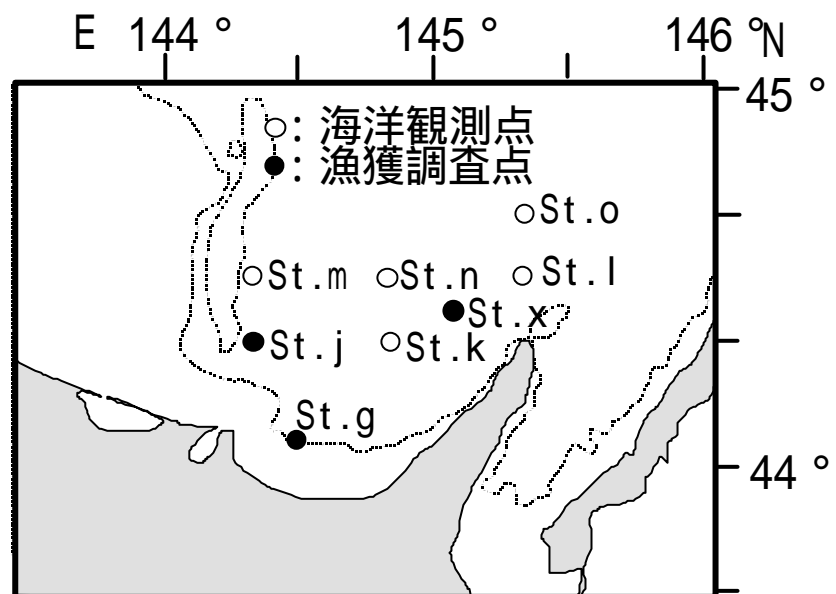


図4 サンマ漁獲調査・海洋観測点  
(St.jでは、海洋観測も行った)

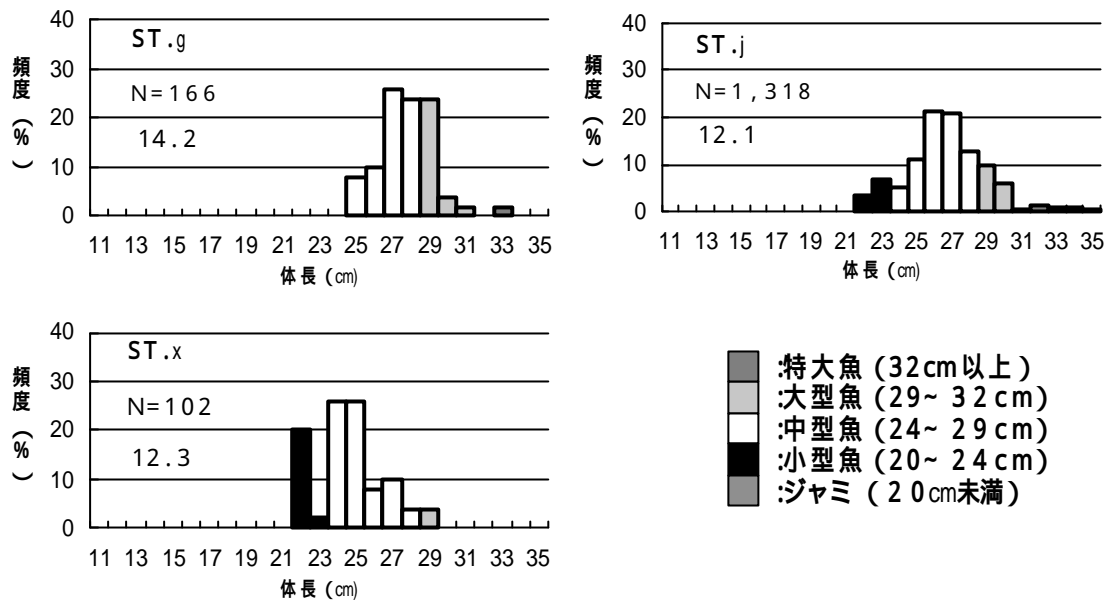


図5 イカ調査で混獲されたサンマの体長組成  
(Nは漁獲尾数、下段は表面水温)

1反)でした。

漁獲したサンマの大きさは、中型魚が主体で、また前年に比べて小型魚が少なくなっていました(図5)。

(文責：釧路水産試験場資源管理部  
直通電話 0154-23-6222)